

図書館だより

秋田大学附属図書館

附属図書館ホームページ

<http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

医学部分館ホームページ

<http://libra.med.akita-u.ac.jp/>



菅江眞澄の道を辿って9

雄島（国道101号線を下ると八森町に入った頃から左手の海辺に見える）

「ここ（藻浦）をしばし遠さかれば、離れ磯のやうにへたたりて見ゆるを雄島といふ。

此嶋のなかに清き泉あるてふ、いわゆる沖の井の此浦にありけるものか」

（雪乃道典 雪の出羽路）

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏 描

目次

巻頭言(秋田大学附属図書館の今)金児紘征	2	図書館案内図 本館1F	6
お知らせ		本館2F	7
シリーズ心に残る一冊(22) 對馬達雄	3	医学部分館1F	8
図書館を利用して 浜井三洋	4	分館2F	9
徳重英信		医学部分館コーナー	10
新入生のための図書館案内	5	図書館カレンダーほか	12

秋田大学附属図書館の今



秋田大学附属図書館長
金児 紘征

秋田大学には手形地区（本館）と本道地区（医学部分館）に附属図書館があります。大企業でも図書館のあるところはめずらしいですが、大学ではどんなに小さい大学にも図書館はあります。図書館があるのが大学の特徴ともいえます。大学の図書館は勉学と結びつけて読書をすることで知的好奇心を育て、より専門的に学びたい人が調べものをするのに適した場所です。調べれば調べるほど、より深く、より広く視野が広がり、調べることが楽しみとなる場所です。現在、附属図書館の蔵書は53万冊で、そのうち洋書が17万冊と多いのが特色です。この情報の宝庫をいかに利用しますか。利用しない手はないでしょう。

今、図書館では、教職員、学生、外部の来訪者がそれぞれの立場で利用しやすいように環境整備に努めています。例えば、コンピュータ画面で読むことのできる電子ジャーナルの活用を進めており、約3千タイトルもあります。図書館にない本でも申し込めば、図書館員が探し出して他大学図書館等から借用することもできます。さらに、秋田鉱山専門学校時代からの貴重本を公開できるように準備をしているところです。図書館は情報の宝庫ですが、適切な情報を得るには検索の腕が必要となります。今後、教職員対象の専門的研修、学生対象の授業、講習会などを積極的に推進する予定です。図書館を積極的に利用する、これが秋田大学生のトレンドになってほしいと思います。

（かねこ ひろゆき

工学資源学部 材料工学科教授）

金児先生は平成15年4月1日より新館長に就任されました。

お知らせ

1. 電子ジャーナルが増えます。

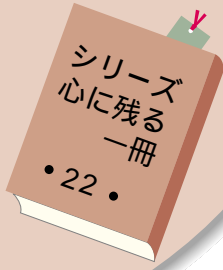
フルテキストが読める電子ジャーナルは4月からScience Directのほか新たにInterScience (Wiley)とCSLSP-e(IEEE)が導入されることになりました。詳しくは電子ジャーナルのページにて案内いたしますのでよりいっそうのご利用を期待いたします。

2. 図書館ボランティアが皆さんのお手伝いいたします。

新しく地域の皆さんから若干名の方々が図書館ボランティアとして登録されました。利用者の方々への色々なお手伝いをいたします。（図書館案内など）

3. 情報リテラシー授業が行われます。（「ネットワーク時代の情報リテラシーA」）

図書館員の解説などによるインターネット時代の情報活用法（本学蔵書や学術雑誌論文、新聞記事など各種文献の探し方、図書館ホームページの活用法など）
4月9日～5月21日の毎週水曜日5-6時限 / 情報処理センター第1端末室 です。



カント 『啓蒙とは何か』

カント著
篠田英雄訳：岩波書店



對馬 達雄

人びとの思考に大きなインパクトを与えてきた書物がある。それは歴史の篩にかけられ読み継がれ「古典」と呼ばれる。ここに紹介する『啓蒙とは何か』は、誰もが知る哲学者カントの著作中最も平易で、また「古典」の中でも最も短い内容のものである。私の世代では若年の折、一度は手にした書物である。

岩波文庫版では本文が僅か13頁だけの短文であるから、すぐ読める。また分かりやすい。その内容と趣旨は表題に言い尽くされている。その冒頭の言葉はこうである。「啓蒙とは、人間が自分の未成年状態から抜けでることである。ところでこの状態は、人間がみずから招いたものであるから、彼自身にその責めがある。未成年とは、他人の指導がなければ、自分自身の悟性（判断の能力 - 對馬）を使用し得ない状態である。（中略）未成年でいることは、確かに気楽である。私に代って悟性をもつ書物、私に代って良心をもつ牧師、私に

代って養生の仕方を判断してくれる医師などがあれば、私は敢えてみずから勞することをうけないだろう。」

この文章は未だ専制君主の支配する1784年に書かれたものだが、今なお色褪せる内容ではない。むしろ私たちにたいする警鐘となっている。昨今の政治の「スローガンの言説」にすぐに熱狂しあるいは失望する現代日本人そのものへの警鐘である。情報過多の時代に生き、それに振り回され、浮遊する現代人にとって、今一度上の文章を読み、含意を考える必要があることは、確かである。何よりも「自律的に考える」という態度が失われつつあることが、現代の最悪の現象なのだから。

（つしま たつお 教育文化学部教育学講座教授）

この著作を収録した岩波文庫は
2F新書・文庫コーナーにあります
（請求記号：080-I95-625-2）

本学教官等著作寄贈図書

（平成14年11月～平成15年2月受入れ）

本学教官が著し、寄贈されたものです。

田口秀子 著「軌跡：研究のあゆみ」	田口秀子	2001
石川三佐男 著「楚辭新研究」	汲古書院	2002
山田正行 共著「うちかて！「いじめ」に」	秋田魁新報社	1998
山田正行 編「青木進々：アウシュヴィッツを生きる」	アウシュヴィッツ平和博物館記念準備室	2002
Kentaro Yoshimura 著 「The immunobiology of Angiostrongylus cantonensis infection」	Sasaki Printing & Publ. Co.	2002（分館）

ありがとうございました。

図書館では本学教官の著作物（単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文）を、積極的に収集し、利用に供しています。出版の折りには御寄贈くださいますようお願いいたします。

浜井 三洋

私と図書館との関わりは、研究のための文献収集がほとんどです。他の研究室と共同で購入している二次情報誌であるCurrent Contentsのフロッピー版で最新の文献を検索します。また、論文を読んで引用文献が必要になることもあります。これらの文献で秋田大学の図書館にあるものはコピーをとることができます。最近 Elsevier 社の雑誌の中には論文のPDFファイルをインターネットでダウンロードできるものもあります。それ以外のもは学外の図書館へ文献のコピー依頼をすることになります。学外文献依頼も昨年暮れから、依頼の書類を図書館まで持っていわずに、インターネットで送ることができ便利になりました。

私の専門分野は物質の反応や物性に関係しているので、物質の基本的な物性値が必要となることがあります。その時には、「ランドルト・ベルンシュタイン物理数値データ集」が図書館にあればと思うことがあります。こういった、基礎データ集やCurrent Contentsのような2次情報誌は全学的に利用できるのも、図書館で揃えていただければよいと思っています。

ところで、最近、専門雑誌はWeb版が急速に普及してきました。ごく近い将来にはWeb版が主流になるものと思われます。それに対応した専門雑誌の購入形態を今後考える時期がくるように思います。

(はまいさんよう 教育文化学部 自然環境講座教授)

秋田大学附属図書館に、よくお世話になっていることの中で、私が特に感激しているシステムとして、夜間などに閲覧したい場合のカードキーの存在があります。例えばJIS規格や本館所蔵の文献を早急に確認したい場合、このカードキーを使って図書館で閲覧することができ、さらに複写することも可能です。このカードキーは大学院生も使用することができ、非常に重宝しているシステムであり、他大学での存在を私は知りません。また、文献複写依頼については、近年電子ジャーナルの普及に伴い、一部についてはweb閲覧も可能となり非常に便利になっています。ただ、当然学外への複写依頼も多数あり、特に海外へ文献をお願いする場合、手に入れることができないものもあります。

秋田大学だけの問題ではなく、改善がなかなか難しいことだとは思いますが、可能な範囲でネッ



徳重 英信

トワークを広げて頂ければ有り難いと思います。また、図書の受け入れについてもシステム上時間がかかることがあり、これも秋田大学図書館だけではなかなか改善が難しいと思いますが、システムの簡略化を是非お願いできればと思います。教育・研究を行っていく上で、図書館の存在は必須です。今後の更なる発展をお願いしたいと思います。

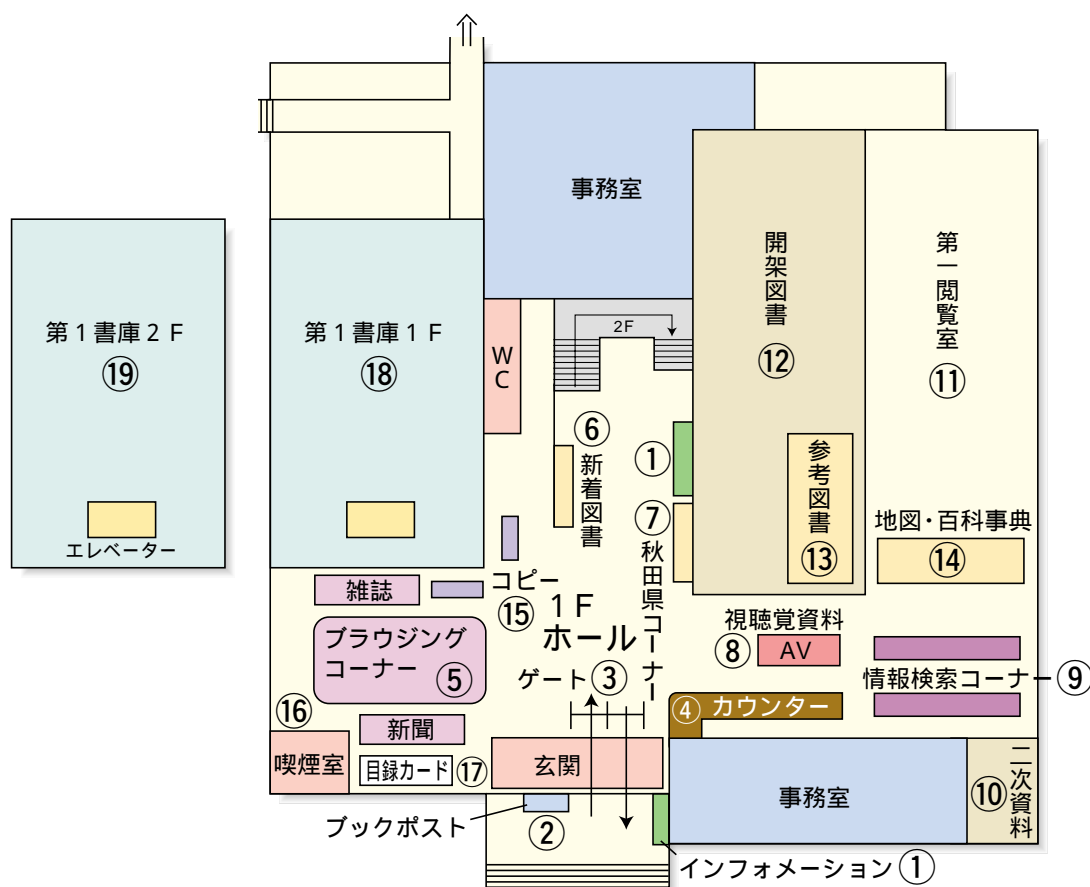
(とくしげ ひでのぶ
工学資源学部 土木環境工学科講師)

新入生のための利用案内

	本館	医学部分館
開館時間	<ul style="list-style-type: none"> ・月～金 8:45～20:00 / 土・日・祝日 9:00～17:00 ただし春・夏・冬季休業期間は ・月～金 8:45～17:00 / 土・日・祝日 休館 	
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・本学創立記念日(6/1) / 年末年始(12/28～1/4) ・臨時休館などの場合はその都度お知らせいたします。 	
開館カレンダー	館内掲示版(INFORMATION)、図書館だより、ミニカレンダー、図書館ホームページなどでご覧ください。	
館外貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料を借りるときはカウンターで学生証と一緒に提出してください。 	
館外貸出	学部学生 5冊まで(図書・雑誌) 院生・研究生 5冊まで(同上)	学部学生 2冊まで(図書ののみ) 院生・研究生 5冊まで(図書・製本雑誌)
貸出期間	2週間(14日)以内	10日以内
長期貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間中は貸出期間や貸出冊数に変更があります(その都度案内します) 	
返却	<ul style="list-style-type: none"> ・返却期限日までにカウンターへ返却ください。 ・閉館時は玄関の返却用ポスト(ブックポスト)に投函してください。 ・返却日より遅れると遅れた日数分貸出停止になります。 	
予約	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人が借用中の図書の予約が出来ます(OPAC--蔵書検索システム--で読みたい図書が貸出中と分かった場合、予約しておく返却後優先して利用ができます) ・学生証を持参しカウンターで手続きしてください。 	
更新	<ul style="list-style-type: none"> ・借りていた図書を継続利用したい場合は返却期限内に学生証と該当図書を持参しカウンターで更新手続きを行ってください。(予約がある場合は不可) 	
視聴覚資料	<ul style="list-style-type: none"> ・CD, LD, Video, DVDなどは館内AVブースや視聴覚室で利用ができます(貸出は不可です) ・学生証と一緒にカウンターで手続きしてください。 	
国際交流コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・留学関係資料や外国人留学生向けの日本語学習用資料、雑誌、新聞があります。 ・文書作成用パソコンもあります。 	
図書ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の背表紙には左記図のように「図書ラベル」が貼ってあります。 ・3段に分かれていて1段目は分類番号、2段目は著者記号、3段目は巻冊番号が記入されます。(これらを総称して請求記号といいます) ・分類番号：図書の内容を記号化したもので210は日本の歴史を意味します。(この番号は日本十進分類法NDCという規則に沿って与えられています) ・分館では医学関係図書は米国国立医学図書館(NLM)分類法で番号が与えられています。(QZ100, WS100, WY150など) ・図書は「図書ラベル」の請求記号順に配架されています。 	
資料を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・本館・分館のホームページに図書館での資料・情報・文献等の探し方が解説されています。(最新のお知らせもここで入手してください) 	
利用案内全般	本館HP: http://www.lib.akita-u.ac.jp/ 分館HP: http://libra.med.akita-u.ac.jp/	

館内案内図

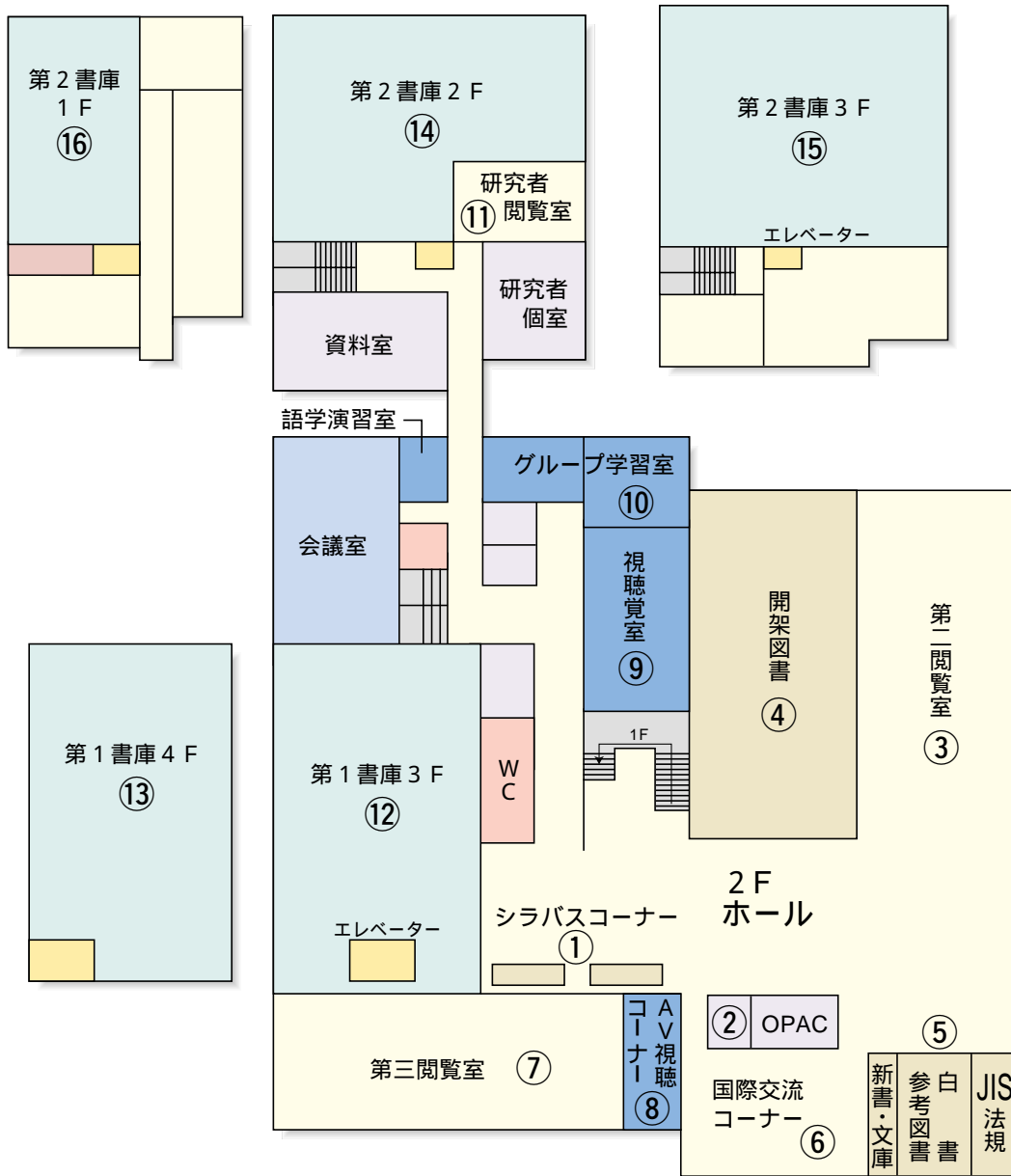
本館1F



開館カレンダー、呼び出し、注意事項の確認が
出来ます
閉館時の返却はここに投函してください
無断持出の場合警報が鳴ります
貸出、返却、各種手続きはここで行ってください
雑誌、新聞があります(談話、飲食可)
新しく受入れた図書が展示されています
秋田県関連の図書などが並べられています
Video, LD, CD, DVDなどのコーナーです
Internetや蔵書検索(OPAC)、文献検索ができます

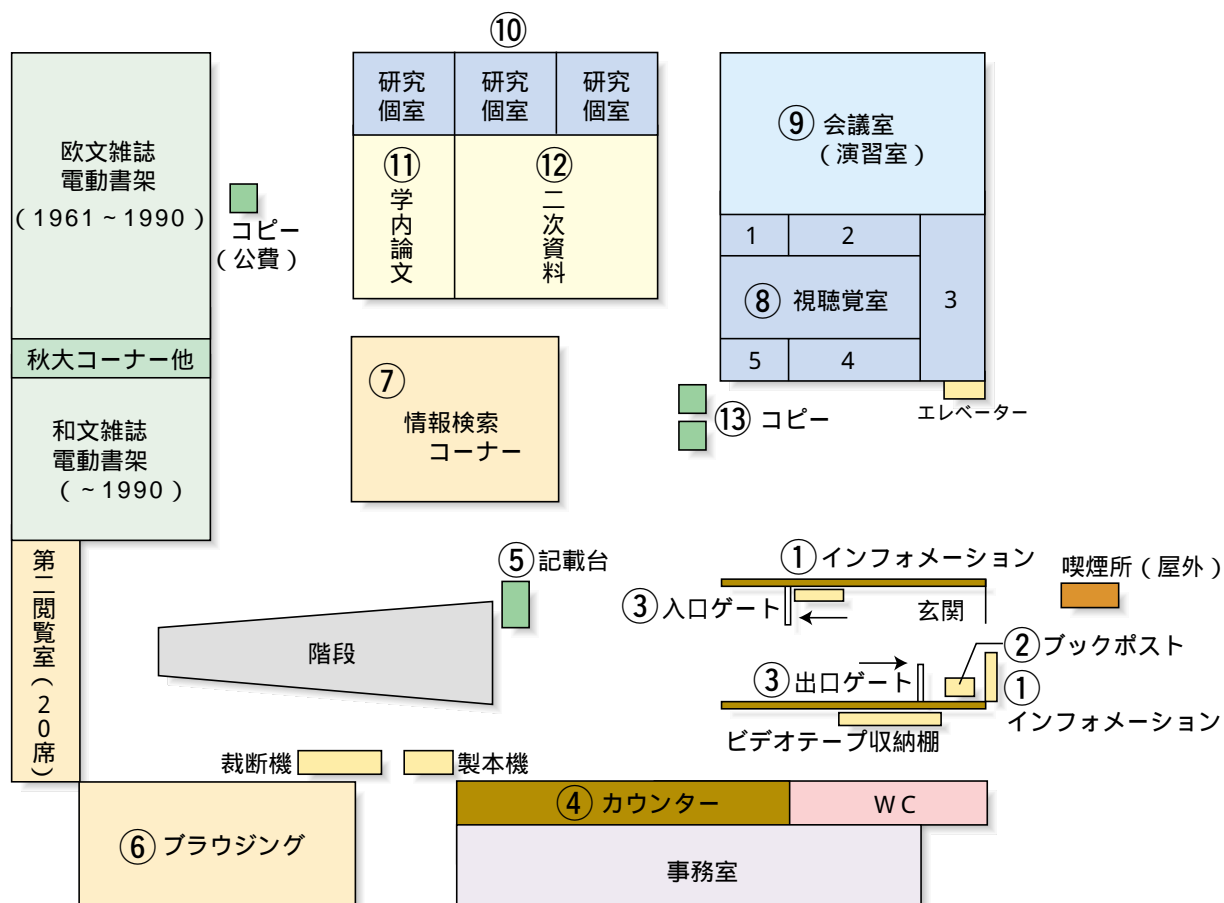
出版目録、文献目録(書誌)、索引類があります
利用者用の机があります(約100席)
人文系、情報学、全集類の図書があります
上記分野の参考書(事典、辞書類)があります
各種地図、百科事典、年鑑類があります
図書館資料のコピーが出来ます(注意厳守)
喫煙はここでのみ可
1988年以前の受入図書目録
修士論文、科研費報告書などがあります
和雑誌バックナンバー(A-K)

本館2F



今年度のシラバスと掲載図書があります	視聴覚資料を多数(3人以上)で観賞する場合
蔵書検索と文書作成用PCがあります	多人数(5~10名)で学習の場合に利用できます
利用者用の机があります(約120席)	教官、院生用の部屋です(約10席 / 個室3)
社会科学、自然科学、工学系の図書があります	和文雑誌(バックナンバー) L-Z / 国勢調査書類
上記分野の参考書や白書、新書、文庫など	新聞縮刷版、官報、大型本、参考図書など
留学(生)用資料やPC, AVブースがあります	欧文雑誌(1970以降と新刊)があります
利用者用の机があります(63席)	開架図書以外の図書があります
視聴覚資料観賞用ブース(1~2人用:8席)	欧文雑誌(1969以前のバックナンバー)

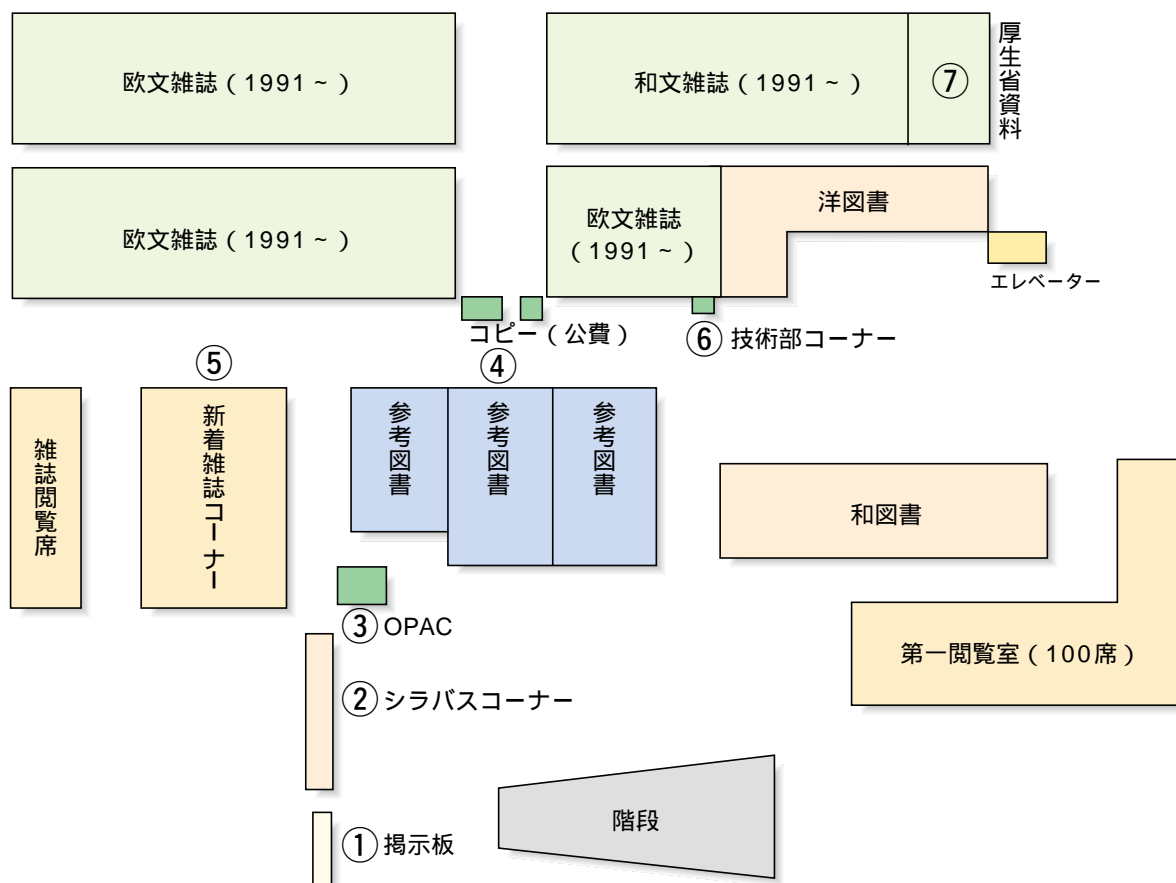
医学部分館 1F



分館からのお知らせがあります
閉館時の返却はこちらへ
無断持出の場合警報が鳴ります
貸出、返却、各種申込はこちらへ
学外者利用簿・学外文献申込書の記載
新聞・雑誌が読めます (飲食可)
蔵書検索 (OPAC)・文献検索・Internetができます
(PC15台)

図書館所蔵のCD・ビデオの視聴ができます
12名位まで、利用できます
院生・教職員の研究用個室です
学内の博士学位論文・科研費報告書があります
医中誌・Index Medicus等の資料があります
学生用 (私費) のコピー機です。
コイン式とカード式の2台あります

医学部分館2F



呼び出し・各種お知らせ・学外文献の到着を掲示
します
今年度のシラバスと掲載図書があります
蔵書検索 (OPAC) ができます

各種事典・辞書・年鑑・地図等があります
(貸出不可)
最新年度の購入雑誌があります
技術部で購入した図書があります
厚生省・厚生労働省の報告書があります



医学部分館コーナー

どれを使う？データベースいろいろ

医学、看護分野の雑誌論文を探すためのデータベースを簡単にご紹介しましょう。

雑誌論文を探すには、各種データベースを用います。データベースによって守備範囲があり、収録している分野や範囲が異なるので、適切なデータベース探しからはじめましょう。ここでポイントとなるのは、「収録分野」……医学、看護、工学などといった対象分野。研究が学際的になってきている昨今、周辺分野のデータベースを探すことも重要です。

「収録年代」……データベースは比較的新しい年代を収録していますから、収録対象年をチェックしましょう。対象年より古いものを探すときは図書館にある冊子体の書誌を使います。

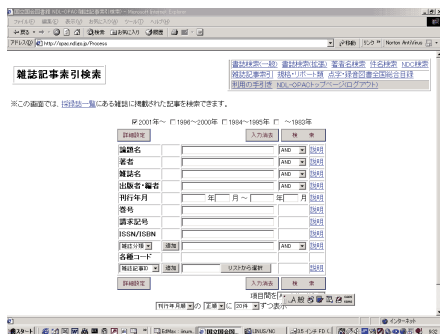
「言語・国」……日本語文献なら日本で作成されたデータベースのほうが広範囲を探せます。

日本の雑誌論文を探すには



医中誌web

- ・収録分野▶医学、歯学、薬学、及び看護等の関連領域
- ・収録年代▶1983～
- ・作成機関▶医学中央雑誌刊行会
- ・国内で刊行された和文・欧文の学術雑誌が対象。学内LANに接続したパソコンから利用可能。これより古い年代は冊子が医学部分館にある。



雑誌記事索引

- ・収録分野▶全分野
- ・収録年代▶1975～（人文・社会系は1948～）
- ・作成機関▶国立国会図書館
- ・国内で発行された和文・欧文の雑誌が対象。インターネット上で公開されている。

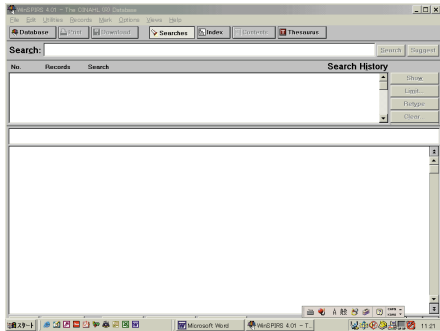
その他、科学技術文献速報(ブンソク)のCD-ROM版、冊子を附属図書館本館で利用することができます。

世界の雑誌論文を探すには



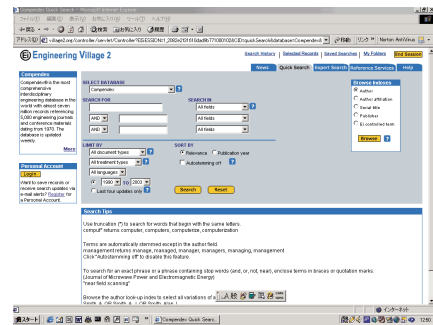
PubMed(Medline)

- ・収録分野▶生物医学分野
- ・収録年代▶1966～
- ・作成機関▶NCBI : National Center for Biotechnology Information(USA)
- ・インターネットで公開されている。これ以前の論文についてはOld Medlineが利用でき、さらに古い年代については医学部分館に冊子Index Medicusがある。NCBIではPubMed以外にも様々なデータベースを公開しており、有益である。



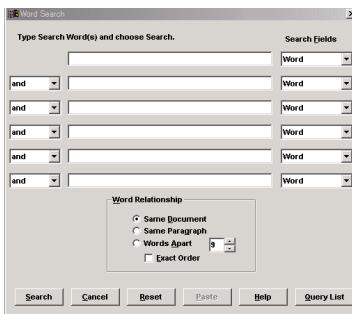
Cinahl

- ・収録分野▶看護学および関連保健領域
(理学療法、作業療法含む)
- ・収録年代▶1982～
- ・作成機関▶Cinahl Information Systems
- ・看護分野の基本的なデータベース。医学部分館の情報検索コーナーでCD-ROMを利用できる。



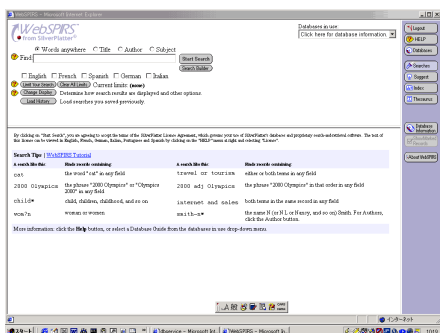
Ei Compendex (in Engineering Village2)

- ・収録分野▶バイオ工学、化学工学等を含む工学全般。
- ・収録年代▶1970～
- ・作成機関▶Elsevier Engineering Information
- ・学内LANに接続したパソコンから利用可能。



CA on CD(Chemical Abstracts)

- ・収録分野▶化学関連領域
- ・収録年代▶1997～
- ・作成機関▶American Chemical Society
- ・医学部分館情報検索コーナーから利用できる。
これ以前の年代は本館に冊子がある。



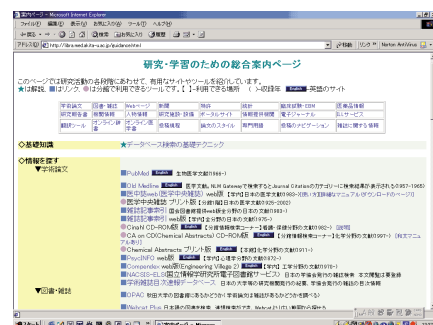
PsycINFO

- ・収録分野▶心理学及びその関連領域
- ・収録年代▶1872～
- ・作成機関▶The American Psychological Association
- ・雑誌のみならず図書、テクニカルレポート等も収録。
パスワードが必要。(本館情報システム係に問い合わせ)

研究・学習のための総合案内ページ

各データベースへのリンクなど詳しい情報は、医学部分館のwebサイトに「研究・学習のための総合案内ページ」がありますのでご参照ください。雑誌論文以外の情報、資料の案内も載っています。

<http://libra.med.akita-u.ac.jp/guidance.html>



図書館カレンダー

(2003年4月～9月)

本館

4						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

 平日 8:45～20:00
 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00
 長期休業期間 8:45～17:00
 休館

分館

4						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

編集後記

新生の皆さん、入学おめでとうございます。図書館では、勉学はもちろん、それ以外にも、これからの皆さんの学生生活に役立つ資料を数多く取り揃えています。おおいにご利用ください。来館をお待ちしています。

図書館だより 第56号

2003年4月1日発行

編集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会
 発行者 秋田大学附属図書館
 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052
 FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252

E-mail : 本館 riyo@lib.akita-u.ac.jp
 分館 medlib@libra.med.akita-u.ac.jp